令和７年９月２２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－７

令和６年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，４９１，６８０円
交付金決定額	２，５６４，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	２，４９１，６８０円
交付金返還額	７２，３２０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ１８
・事後評価調書　Ｐ１９～Ｐ２２
・参考写真
（令和６年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２３～Ｐ３２

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和7年4月1日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１丁目１番地
名称：瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金実績報告書

令和６年５月1日付瑞浪市指令第44号で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
安全・安心なまちづくり事業
潤いのあるまちづくり事業
地域の交流が活発なまちづくり事業
広報事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

安全安心なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題

瑞浪地区では、担い手不足からくるまちづくり活動の固定化・マンネリ化が心配されています。また、人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化などの社会的変化により、地域住民のつながりが弱まっていると感じる方も多いかと思います。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域住民の生活や安全に対する不安が高まっています。このような状況の中で、地域住民が自ら防犯・防災活動に参加し、お互いに助け合う「共助」の意識を持つことが、安心して暮らせる「安全な街」をつくるための重要な取り組みです。

活動内容

１，防犯事業

地域の防犯は地域住民の皆さんの協力が必要です。青色防犯パトロールは、地域の安全・安心を守るために、地区全地域は勿論ですが、月に２回小中学生の下校時通学路を中心に安全を見守る活動は、地域の住民との交流や信頼関係を高める効果もあります。

２，防災と安全安心事業

自分の命は自分で守るために、災害に対する知識や防災意識の高揚（自助・共助・公助）と家庭や職場での命に係わる緊急時の対応について、みずなみ防災会の協力を得て実習を伴う図上訓練を実施します。図上訓練では、災害発生時、家族や地域住民の安全を確保するために避難や救助の手順災害履歴、避難場所、避難経路などの確認を行います。別途、瑞浪市消防本部の協力を得て怪我の応急処置やAEDの使い方などを習得します。

３，健康づくり事業

地域住民の健康増進と絆を強くするため、地域の方々に日頃から親しまれている土岐川堤防沿いと高松観音を中心としたコース「土岐川堤防健康ウォーキング」をビンゴゲームや化石探しなどのイベントを計画し家族が気軽に参加できる内容で実施します。

４，見守り事業（地域計画２０２４からの新事業）

地域の子どもや高齢者が安全安心な暮らしができる地域とするために、既存の伝統文化である「お祭り」や見守り・交流活動を行っている、いきいきサロンの一つの活動として「わら草履作り」などのイベントに子どもたちが参加し、高齢者とのふれ合いを通じて交流を深める活動を行います。子どもと高齢者が交流を深めることで、地域のつながりを強化します。また、地域の福祉団体と協働し活動を継続することで組織的な体制へと整え、地域として「子ども・高齢者」の見守り活動を行います。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１，防犯事業

青色回転灯防犯パトロールによる巡回は、毎月第１第３金曜日午後３時から小中学校通学路を中心に、第２第４第５金曜日午後7時からからは地域全体を対象に実施します。（年／40日）延べ１２０名で行います。

２，防災と安全安心事業

①防災図上訓練

図上訓練への参加者は、各区役員及び防災対策担当者（一般区民参加可）で１１０名の参加者で開催します。

②普通救命講習会（３時間講習）

参加者は、各区役員と希望する地域の奥さんを対象に１回２０名程度を２回開催します。

３，健康づくり事業

土岐川堤防健康ウォーキング

春に１５０名の参加者で開催します。

４，子ども高齢者見守り隊（地域計画２０２４からの新事業）

寺河戸地区、山田地区、小田地区の３地区で開催されるお祭りやいきいきサロンのイベントを利用し交流会を１地区１回合わせて３回行います。高齢者と小中学生で「昔の遊び」（けん玉・こままわし）を1月～2月に行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

598,000 円

５　交付金申請額

570,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

安全・安心なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第１、第３金曜日午後3時から小中学校通学路を中心に、第２、第４、第５金曜日午後7時からからは地域全体を対象に実施した。
②自主防災訓練は、[みずなみ防災会]の協力を得て図上訓練を実施した。
③ＡＥＤ･心肺蘇生法講座を2回実施した。
④子ども、高齢者見守り活動を計画しましたが、インフルエンザ感染予防で活動を中止した。
⑤土岐川堤防健康ウォーキングを春に実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第１、第３金曜日午後3時からと、第２、第４、第５金曜日午後7時から、41日111名で実施した。（計画＝年／40日延べ120名）
②自主防災訓練（地域での防災対策）各区役員・防災担当者94名で図上訓練を実施した。（計画＝120名）
③ＡＥＤ･心肺蘇生法講座は、11月9日（土）、14日（木）の2回開催参加者33名で実施した。
家庭の奥様を中心に土曜日の午前中に開催、参加者の6割以上が女性でした。
（計画＝2日×20名　合計40名3時間コース）
④子ども・高齢者見守り隊活動
インフルエンザ感染予防で中止した。
⑤土岐川堤防健康ウォーキングは春145名の参加者で実施した。
新しく高松観音コース（7.8km）をメインコースとして実施。（計画＝春120名）

４　事業に要した経費（総事業費）

513,537　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

513,537　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	土岐川堤防健康ウォーキングチラシ折込代（中日東1000部西2000部）	委託料	10,560
5月	青色回転灯防犯パトロール案内（@63×50枚）	通信費等	3,150
	ウォーキングチラシ印刷（400枚×27.5円）	印刷費	121,000
	ウォーキングコースライン用テープ	消耗品費	2,669
	ラリーゲーム賞品代（バロー券1,000×　10枚）	報償費	10,000
	ウォーキング参加賞（ノベルティー@800円×100人）	消耗品費	80,000
	青パト共用ベスト12着帽子5個	消耗品費	53,790
	ウォーキング準備作業お茶17本	食料費	1,437
	ウォーキング煎餅飴・お茶	食料費	20,000
６月	青パト年間当番表案内（切手84円×34140円×2）	通信費等	3,136
７月	青パト講習会の案内（63円×50枚　84円×30枚）	通信費等	5,670
	自主防災ノベルティー（たんすガード2組用110名×1300円）	消耗品費	157,960
８月	土岐川堤防健康ウォーキングお茶	食料費	3,223
	自主防砂訓練アンケート用鉛筆2ダース	消耗品費	1,097
	自主防災訓練まち委員へ反省会案内（@63×40枚）	通信費等	2,520
	自主防災訓練参加者お茶（@100×108名）	食糧費	10,800
	普通救命講習会チラシ作成	印刷費	18,700
１０月	青色パトロール実施車証（@140円×8枚）	通信費等	1,120
１１月	救急救命講習会お茶（@100円かけ酢19本）	食料品	2,030
	救急講習会ふりかえり会議開催案内（@85×50）	通信費等	4,250
	普通救命講習会開催案内（@85×5名）	通信費等	425
合計			513,537

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績	備考
夢づくり地域交付金	570,000	513,537	
自主財源	28,000	0	
その他（　　）			
合　　計	598,000	513,537	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算	本年度実績	備考
経費区分	活動の内容				
防犯事業	**青色回転灯防犯パトロール** 住民参加の防犯活動を行う。	消耗品費	50,000	53,790	共有ベスト１２着
		通信費等	12,000	13,076	パトロール当番案内
		小計	62,000	66,866	
防災と安全安心事業	**自主防災訓練** 災害に備えるために「自分の命は自分で守る」図上訓練で災害に対する知識や防災意識の高揚を図る。	消耗品費	160,000	159,057	粗品たんすガード
		食料費	18,000	10,800	参加者へのお茶
		通信費等	5,000	2,520	防災訓練の開催案内
		小計	183,000	172,377	
	救急救命講習会 緊急時の対応について学ぶ。	食料費	5,000	2,030	お茶
		印刷費	30,000	18,700	チラシ作成
		通信費等	5,000	4,675	ふりかえり開催案内
		小計	40,000	25,405	
健康づくり事業	**土岐川堤防健康ウォーキング** 地域住民が健康でいきいきと暮らすために、春と秋に実施する。	消耗品費	81,000	82,669	粗品
		報償費	17,000	10,000	ウォークラリー賞品
		食料費	40,000	24,660	お茶
		印刷費	110,000	121,000	ウォークラリーのお知らせチラシ
		委託料	10,000	10,560	新聞折込
		通信費等	5,000	0	
		小計	263,000	248,889	
子ども高齢者見守り事業	**子ども・高齢者見守り隊** ふれあい活動を行うことで、子ども・高齢者の見守りを実施する。	消耗品費	10,000	0	
		食料費	5,000	0	
		印刷費	30,000	0	
		通信費等	5,000	0	
		小計	50,000	0	インフルエンザ予防で廃止
合　　計			598,000	513,537	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
瑞浪地区では、担い手不足からくるまちづくり活動の固定化・マンネリ化が心配されています。また、人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化などの社会的変化により、地域住民のつながりが弱まっていると感じる方も多いかと思います。瑞浪地区が、住みやすい潤いのある美しく豊かな暮らしができる地域にします。また、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とし た地域づくり」の実現に向けて地域と　学校が相互の連携・協働のもとに地域づくりを進めます。コミュニティ花壇の整備や環境美化啓発活動を行います。地域の子どもや高齢者を常に意識し、地域住民が笑顔あふれ人にやさしい潤いのある地域にします。

活動内容
１，花の苗配布
自治会や町内会に所属する団体や学校などが、地域の公園、道路、公民館や学校の花壇など不特定多数の人の目につく花壇に花を植え付け、潤いのある地域環境をつくります。春・秋年２回実施し、植え付け後花壇の維持管理をお願いする。
２，心和ませ自然を守る（**地域計画２０２４からの新事業**）
地域の環境美化保全と家族の絆を強くします。
（１）チームホタル
①ホタルが飛び交う万尺川を「ホタルが居着く川」となるよう次世代へ引き継ぐために里親を募集します。
②ホタルの幼虫放流と観る会を、瑞浪地区子ども会育成会連合会（瑞子連）と協働事業として開催します。
③自然豊かな万尺川を周辺の地域の皆さんと一緒に草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を実施します。
（２）フジバカマの植栽活動（美しい蝶の呼び込み）
アサギマダラ蝶は、フジバカマの花蜜から毒素（ピロリジジン）を体内に取り込み鳥などの天敵から身を守ったり、花粉を運び受粉を助けます。地域の家族と子どもたちに美しい花と蝶の関係を知っても頂くことにより、命と美しい自然環境の大切さを感じてもらいます。後世まで心和ませる自然環境を守り残すためにフジバカマの苗を地域民家の花壇に家族で植栽します。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
絵手紙・ちぎり絵を体験することで、手書きのすばらしさや温もりと、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わっていただく教室を開催します。
４，男女共同参画事業
「性別を問わず活躍できる組織づくり」と題して講演会を開催します。講演会では男女共同参画のメリットや課

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、花の苗の配布
希望する団体に、春４，５００ポット、秋３，５００ポット合計８，０００ポットを配布します。
２、心和ませ自然を守る（**地域計画２０２４からの新事業**）
（１）チームホタル
①里親を３組お願いし幼虫１，０００匹飼育します。
②「ホタルを観る会」は「瑞子連」との協働開催で、６月上旬開催し参加者は１５０名を予定します。
③３月下旬万尺川周辺の地域の皆さんと「瑞子連」の子ども達と一緒に清掃活動を行いホタルの幼虫１，０００匹を放流します。
（２）フジバカマの植栽活動
種と苗を購入または地域の愛好家などから譲受、地域の民家の花壇を利用して植栽します。苗にして100本を20戸（1戸苗5株）の民家に植栽します。苗の配布は、5月31日春の花の苗配布時を予定しています。
３，絵手紙・ちぎり絵教室
年６回開催、毎回第1土曜日午後に開催します。参加者は、１回２０名で年１２０名の参加者を予定します。
４，男女共同参画事業
「男女共同参画社会」に関する講演会を１回５０名の参加者で行います。
５，瑞浪美化チーム（**地域計画２０２４からの新事業**）
寺河戸地区、小田地区、山田地区の各地区１組、計３組の草刈りチームを令和６年度末を目標に組織します。
3組の草取りチームに自走式草刈り機の操作方法や安全対策について講習会を各1回実施します。

４　事業に要する経費（総事業費）

936,000 円

５　交付金申請額

912,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

06

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

１、花の苗の配布春・秋の年2回実施した。
２、3月下旬蛍の幼虫を放流する前に万尺川の清掃を実施した。源氏蛍の捕獲から交尾・採卵・幼虫飼育を行い幼虫100匹以上を放流した。万尺川清掃及び蛍の生態と飼育について小学生を対象にミニ蛍教室を実施した。
　気候が大変暑く幼虫の飼育が不漁で里親活動が出来なかった。
３、絵手紙・ちぎり教室を年6回開催した。
４、「男女共同参画社会」に関する講演会を行った。
５、瑞浪美化チームは人数は７名と少ないが、2チームの体制作りができた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①花の苗の配布　春31団体に4,000ポット、秋30団体に4,440ポット合計8,440ポットを肥料と一緒に配布した。
（計画＝8,000ポット）
②3月22日「瑞子連」の親子36名と近隣の皆さん18名が参加して、ミニ蛍教室実施後「万尺川に蛍を取り戻すため」
100匹以上の幼虫を放流した。環境美化活動として万尺川のゴミ集めを行った。
6月3日「瑞子連」と協働で蛍観賞会開催、地域貢献企業ダイナム様の会場提供もあり、子ども220名含む430名の参加で実施した。里親は暑さのせいか幼虫の育ちが悪くできなかった。（計画里親＝3、幼虫放流計画＝1,000匹）
③絵手紙・ちぎり絵教室を6回開催し参加者は111名でした。　（計画：6回120名）
④「男女共同参画社会」”人生100年の時代へ”「災害時においても、男女共同参画の視点で！」と題し講演会を36名の参加で実施した。（計画＝50名）
⑤瑞浪美化チームは、草刈り隊として2チーム7名の参加体制で活動を行った。
（計画＝講習会1回、組織化3チーム）

４　事業に要した経費（総事業費）

880,955 円

５　夢づくり地域交付金充当額

880,955 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（潤い）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
4月	絵手紙ちぎり絵開催案内（63×30枚）	通信費等	1,890
５月	花の苗引き換え用葉書（葉書63円×50枚）	通信費等	3,150
	男女共同参画チラシ1000枚作成	印刷費	18,700
	フジバカマ苗代	消耗品費	35,000
６月	花の苗代（4,000ポット×70円）振込手数料含む	消耗品費	280,550
	万尺川ヨシ刈（148円×4）	消耗品費	694
	ホタル鑑賞会（ジュース×130本）	食料費	14,040
	蛍幼虫餌（カワニナ５kg）	通信費等	6,390
	男女共同参画社会講演会講師謝礼	報償費	20,000
	男女共同参画社会講演会席札用紙	消耗品費	1,160
	男女共同参画社会講演会お茶（紙パック90円×12本）	食料費	1,080
	蛍幼虫餌（カワニナ3kg）	消耗品費	4,575
8月	男女共同参画社会講演会ワーク用付箋紙	消耗品費	5,384
	男女共同参画社会会議資料紙代	消耗品費	6,050
	男女共同参画会議の開催案内（63円×30枚）	通信費等	1,890
９月	蛍の幼虫餌（5kg+送料）	消耗品費	6,280
１０月	絵手紙教室用葉書、半紙	消耗品費	1,825
	絵手紙講師謝礼	報償費	10,000
	花の苗配布（秋）苗交換葉書（@85×30）	通信費等	2,550
	花の苗配布時の肥料（@850円×30団体）	消耗品費	25,500
１１月	絵手紙教室開催案内（@85×20）	通信費等	1,700
	花の苗配布（@70円×4,440ポット）	消耗品費	310,800
１２月	絵手紙・ちぎり絵教室画仙紙他（@180×13）	消耗品費	2,270
	美化チームお茶代（草刈り隊年末の清掃で打合せ）	食料費	2,450
	草刈り機（バリカン）（@18800×2）	備品費	41,360
	蛍の幼虫餌（送料込餌5kg）	消耗品費	6,280
１月	蛍の幼虫餌（送料込餌5kg）	消耗品費	6,280
	絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（@85円円×50枚）	通信費等	4,250
２月	絵手紙・ちぎり絵教室チラシ作成（@22円×500枚）	印刷費	12,100
３月	蛍の幼虫餌（送料込餌5kg）購入	消耗品費	6,280
	蛍放流ヨシ刈バリカン購入	備品費	21,363
	万尺川に幼虫放流会お菓子、準備午前中からおにぎり	食料費	19,114
合計			880,955

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	912,000	880,955	
自主財源	24,000	0	
その他（　　）			
合　　計	936,000	880,955	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項			支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容					
花の苗配布	コミュニティ花壇整備事業で花の苗を春に地域の団体に配布し潤いのある地域環境づくりを推進する。		消耗品費	616,000	616,850	花の苗代
			食料費	3,000	0	
			通信費等	5,000	5,700	苗引換用葉書
			小計	624,000	622,550	
自然を守る	チームホタル	環境保全を推進するとともに、家族の絆を強くする。万尺川を蛍が居つく川とする。ホタルを観る会と清掃活動を実施委する。	報償費	10,000	0	
			消耗品費	82,000	56,458	餌カワニナ
			手数料	0	990	振込手数料
			食料費	30,000	33,848	お茶ジュース
			小計	122,000	91,296	
	フジバカマ植栽	後世まで心和ませる自然環境を守る。　美しい蝶とフジバカマを残すために公園や学校の花壇に苗を植栽する。	消耗品費	40,000	35,000	苗代
			通信費等	1,000	0	
			食料費	2,000	0	
			小計	43,000	35,000	
絵手紙教室	絵手紙・ちぎり絵を体験することで、参加者相互の触れ合いを感じると同時に「繋がり」と「楽しさ」を味わい、絆を強くします。		報償費	10,000	10,000	講師謝礼
			印刷費	0	12,100	チラシ印刷
			消耗品費	10,000	4,095	画仙紙・半紙
			通信費等	10,000	7,840	年６回の開催案内
			小計	30,000	34,035	
男女共同参画事業	まちづくり事業活動に、女性が参加していただくためにも「正しい男女共同参画とは」などの講演会を開催します。		報償費	20,000	20,000	講師謝礼
			印刷費	30,000	18,700	チラシ印刷
			消耗品費	5,000	12,594	演台生花
			通信費等	0	1,890	付箋用紙
			食料費	2,000	1,080	お茶ジュース
			小計	57,000	54,264	
環境美化チーム	環境美化地域コミュニティの活性化を目的に組織作り活動をします。自走式草刈り機の操作方法や安全対策について講習会を開催します。		備品	24,000	41,360	草刈機バリカン
			食料費	2,000	2,450	お茶ジュース
			消耗品費	4,000	0	
			印刷費	30,000	0	
			小計	60,000	43,810	
合　　計				936,000	880,955	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題

瑞浪地区では、担い手不足からくるまちづくり活動の固定化・マンネリ化が心配されています。また、人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化などの社会的変化により、地域住民のつながりが弱まっていると感じる方も多いかと思います。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域住民の生活や安全に対する不安が高まっています。「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて地域と学校が相互の連携・協働のもとに地域づくりを進めます。地域ぐるみ家族ぐるみで参加できる事業を開催し、家族を軸に地域的な連帯感に支えられた、楽しく暮らしやすい近隣生活を営む基盤をつくるきっかけとします。

活動内容

１．体験農業事業

①田植え、さつま芋苗・ポップコーン用苗の植付け

田植えなど農業体験を子どもが主役となって地域ぐるみ家族ぐるみで実施、交流を深め地域の絆を強くします。

②稲刈り

餅米稲の刈り取り作業を地域ぐるみ・家族ぐるみで行い、収穫の喜びを味わうことで絆を深めます。

２、家族ふれあい芋ほり大会事業

食の大切と収穫の喜びを感じ、地域の交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。「芋ほり大会」には、家族単位で参加し、一番大きいさつま芋1個の重さで競い、1位から10位までの順位を決め表彰します。また、協働事業として瑞浪地区子ども会育成連合会（瑞子連）や地域貢献活動企業と一緒に行います。

３．自然とのふれあい事業

①ニホンミツバチ飼育と蜜蜂

環境指標生物でもある「ニホンミツバチ」の生態を、子どもたちに身近に感じていただく事により、自然環境でミツバチが野菜や果樹に自然にはたしている役割などを学習します。設置しある巣箱を利用し蜂群誘導飼育方法などを地域の養蜂家から学びます。（東濃農林事務所には「飼育届」を提出済です。）

②昆虫採集

地域の子ども達に、身近な昆虫に興味を持ってもらうと同時に、昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝えていきます。7月又は8月の夏休みの夜間、発電機の照明を利用し家族で昆虫採集を実施します。

４．寺子屋事業（**地域計画２０２４からの新規事業**）

近年地域の子ども達と大人が交流できる環境や組織も少なくなっています。子育てと子どもたちの居場所創りに夏休みを利用して、「寺子屋」を駅前地域の賑わいづくりをかねＭビルを利用し開設・運営を行います。先生は中高生や大学生のボランティアを募集して実施します。募集方法は、チラシを作成し回覧や新聞折込で募集します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１．体験農業

・田植え、さつま芋の植え付けに参加者２０家族８０名で実施します。

・稲刈りに２０家族８０名で実施します。

２．家族ふれあい芋ほり大会

芋ほり大会の参加者６０家族２００名で行います。農園管理は延べ２５０名で行います。

３．自然とのふれあい

①ニホンミツバチ飼育

小中学生を対象に、日本ミツバチ飼育学習会を11月に蜂蜜取りを兼ねて開催します。参加者する子どもは２０名を予定します。

②昆虫採集

小中学生を対象に、７月下旬から8月（夏休み期間中）の夜間に昆虫採集を１回開催し、参加者は子ども３０名と家族で実施します。

４．みずなみ夏の寺子屋（**地域計画２０２４からの新事業**）

利用規則などの運営内容検討後、活動を駅前地域のＭビルを利用し夏休み期間中に１回（５日間）開催します。参加者は1日１５名程度で延べ７５名の子ども達で行います。

４　事業に要する経費（総事業費）

705,000 円

５　交付金申請額

664,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

1，体験農業
①子どもが主役となって家族ぐるみで、田植え、芋の植付けを実施した。
②稲刈りは作業を計画した日が雨降りで出来ませんでしたので、後日役員が中心となり実施した。
2，第5回芋ほり大会
瑞浪地区子ども会育成会連合会（瑞子連）と地域貢献活動企業との3者協働で実施した。
3，自然とのふれあい活動
①ニホンミツバチ飼育と採密
気候が大変暑かったのか巣の育ちが悪く学習会と採蜜活動は出来ませんでした。
②昆虫採集
事前にカブトムシバナナトラップを近くの雑木林に仕掛けましたが照明用の電球が不備（LED）のため失敗しました。
4，みずなみ夏の寺子屋
夏休みを利用して駅前地域の賑わいづくりを兼ねＭビルを利用して、午前中の５日間実施した。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

1，体験農業
①田植え、さつま芋の苗植えに73名が参加して実施した。（けいかく＝80名）
②稲刈り当日雨降りで後日役員で実施した。（計画＝20家族80名）
2，第５回芋ほり大会
芋ほり大会は参加者は、53家族218名と中学生ボランティア4名の参加で実施した。（計画＝60家族200名
3，自然とのふれあい活動
①ニホンミツバチ飼育と採蜜
夏大変暑く採蜜と学習会はできませんでした。分蜂は１巣成功しました。（計画＝学習会１回、分蜂１巣）
②昆虫採集
昆虫採集は実施しましたが、照明電球の不備失敗しました。飼育したカブト35匹は抽選で子どもたちに配布しました。参加者は子ども47名を含め106名ありました。（計画＝カブト数匹）
4，みずなみ夏の寺子屋
参加した子ども延198名とサポートの先生延27名で実施した。（計画＝100名）

４　事業に要した経費（総事業費）

703，938 円

５　夢づくり地域交付金充当額

664，000 円 ＋［安全・安心より事業より39，938円流用］

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（地域内交流）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
５月	農園草刈り用燃料	光熱水費	3,340
	田植チラシ（17円×1000）	印刷費	18,700
	農園草刈りお茶（6本×148）	食料費	832
	バイオトップマルチ	消耗品費	14,299
	さつま芋苗代50本10束×1870	消耗品費	18,700
	田植子ども菓子、ジュース	食料費	19,800
	燃料タンク	消耗品費	1,080
	農園作業お茶（8本×148円）	食料費	1,108
	軍手	消耗品費	2,173
	寺子屋チラシ1500枚×13円　500枚×15円印刷	印刷費	29,700
	農作業お茶（148×15）、	食料費	2,079
	傷害保険（損保ジャパン年間保険料）	保険料	50,050
６月	水稲餅苗代、肥料	消耗品費	8,148
	寺子屋会議（お茶×12）袋代含	食料費	1,152
	田植え機借用と田植え耕耘機運転謝礼（バロー券3名）	報償費	15,000
７月	寺子屋同意書等郵送（84円×68枚返信用含む）	通信費等	5,712
	寺子屋教材（絵手紙用筆等）	消耗品費	5,756
	寺子屋絵手紙教室葉書	消耗品費	6,055
	寺子屋パートナー謝礼（アゴ足代@1000×13人）	報償費	13,000
	カブト飼育巣制作材料、餌ゼリー	消耗品費	9,260
	農園草刈りお茶（@148×15本）	食料費	2,892
	体験農業稲刈りチラシ（17円×1000枚）	印刷費	18,700
	昆虫採集打合せ（お茶×10）	食料費	950
８月	寺子屋化t付けお茶（@100円×10人	食料費	956
	昆虫採集お茶とお菓子（子ども×50名）	食料費	24,720
	寺子屋パートナー謝礼（アゴ足代@1000×10人）	報償費	10,000
	昆虫採集お茶不足分（@100円×30本）	食料費	3,256
	昆虫採集バナナトラップ、発電機エンジンオイル	消耗品費	2,807
	まち推進委員へ稲刈り協力依頼（63円×30枚切手84円×20枚）	通信費等	3,570
	第３回芋ほり大会チラシ（5000枚）	印刷費	47,300
	かんたんテント修理代（部材代）	消耗品費	11,990
	農園雀脅し、イノシシ対策	消耗品費	16,414
	農園草刈りお茶（2回分）（@140×17本）	食料費	2,622
	草刈り機燃料	光熱水費	2,430

	芋ほり大会開催案内（@84×80枚）	通信費等	6,720
９月	水稲補強（いぼ竹棒30本）	消耗品費	5,485
	草刈りお茶・稲刈りお茶・お菓子	食料費	6,480
	稲刈りお茶と菓子	食料費	4,496
	青少年育成部（用紙、ホチキス等）	消耗品費	2,367
	芋ほり大会準備お茶（@110×20）	食料費	2,200
	稲刈り用縄等、クラーボックス、軍手	消耗品費	16,152
	稲刈りマルチ、紐、軍手	消耗品費	8,178
１０月	モチ米精米代	手数料	1,500
	イノシシ対策防護ネット、抑えピン、杭	消耗品費	29,271
	芋ほり大会開催案内（@85×60枚、切手22円10枚）	通信費等	5,320
	稲こきお茶（@140円×10）	食料費	1,470
	ミツバチ飼育学習会家族への案内（@110×5枚、単価180円×1）	通信費等	730
	芋ほり大会準備お茶（@110×20、お茶菓子等）	食料費	3,754
	芋掘り大会準備（垂木・荷札・杭・ステップル）	消耗品費	1,137
	第5回芋ほり大会用（プリインク、圧紙等）	消耗品費	7,542
	芋掘り大会賞品（スーパー商品券@1000から）	報償費	17,000
	稲刈り耕耘機謝礼	報償費	10,000
	芋掘り大会（赤飯）	賄材料費	71,500
	芋掘り大会（ジュース、お茶等・準備のお茶）	食料費	106,164
	堆肥ふるいする	消耗品費	1,628
	芋掘り大会（ラミネート、電池・ポリ袋）	消耗品費	9,546
	農園所有者へ土地借用のあいさつ手土産	食料費	1,728
１１月	保育園一時預かり料金	委託料	3,240
	農園堆肥まきお茶（@200円×6菓子）	食料費	1,558
	カブト幼虫飼育マット（@800円×3）	消耗品費	2,640
2月	農園倉庫片付け作業（@110円×135円）	食料費	1,581
合計			703,938

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	664,000	664,000	
自主財源	41,000	39,938	
その他（　　）			
合　　計	705,000	703,938	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項			支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容					
農業体験	田植え・稲刈りなど農業体験を子どもが主役となって地域・家族ぐるみで実施、地域の交流を図り絆を強くします。家族ふれあい農園でもち米・さつま芋とポップコーン用のトウモロコシ苗の植え付けから収穫まで行う。		報償費	50,000	25,000	農園・耕耘機の謝礼
			消耗品費	76,000	121,528	イノシシ対策網
			食料費	62,500	46,646	お茶・ジュース・菓子
			印刷費	60,000	37,400	チラシ印刷代
			光熱水費	5,000	5,770	耕耘機等燃料
			通信費等	6,500	3,570	開催案内
			手数料等	0	1,500	餅米の精米代
			小計	260,000	241,414	肥料・縄・備中
芋ほり大会	食の大切さと収穫の喜びを感じ、地域の交流を深めるとともに家族の絆を強くすることを目的に実施します。芋ほり大会は家族単位で参加し、堀田芋の１個の重さで競い合い、１位から１０位までの順位を決め表彰します。		報償費	22,000	17,000	地主等への謝礼
			消耗品費	27,000	32,582	荷札・厚紙・杭
			食料費	102,000	112,118	ジュース・お茶・菓子
			印刷費	55,000	47,300	チラシ作成
			光熱水費	5,000	0	
			賄材料費	70,000	71,500	おこわ弁当代
			通信費等	1,000	12,040	開催案内
			委託料	5,000	0	
			保険料	45,000	50,050	損害保険
			使用料等	20,000		公民館使用料
			小計	352,000	342,590	耕耘機燃料代
自然とのふれあい	ミツバチ飼育	蜜蜂が野菜や果実に果たしている役割などを子どもたちに学習していただきます。	消耗品費	10,000	0	
			食料費	5,000	0	
			印刷費	20,000	0	
			通信費等	0	730	案内はがき
			小計	35,000	730	
	昆虫採集	子どもたちに昆虫が生存できる自然環境の大切さを伝え命の大切さを学んでいただきます。	消耗品費	13,000	17,947	白布・杭・バナナトラップ
			通信費等	2,000	0	
			使用料等	10,000	0	
			食料費	0	28,926	ジュース・お茶・菓子
			小計	25,000	46,873	
みずなみ夏の寺子屋	子どもたちの居場所作りに夏休みを利用して「寺子屋」を駅前地域の賑わいづくりを兼ねMビルを利用して開設・運営します。		報償費	10,000	23,000	駐車代・別当代相当謝礼
			食料費	13,000	2,108	お茶・ジュース・菓子
			通信費等	5,000	5,712	開催案内・同意書等の郵送
			使用料等	5,000	0	
			印刷費	0	29,700	チラシ印刷代
			消耗品費	0	11,811	[illegible]
			小計	33,000	72,331	
合　　計				705,000	703,938	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

広報事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

課題
まちづくり活動への理解と協力を得るため、まちづくり活動を住民に周知する必要があります。また、若年層から高齢者までまちづくり活動に興味を持って頂く必要がありますので、まちづくり新聞の発行とホームページやＳＮＳ（ライン・Facebook）を活用してイベント案内や集客情報を発進します。
活動内容
１広報紙「まちづくり新聞の発行」
まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年２回発行し、広報みずなみの発行に併せて地区内の全世帯に配布します。
２ＭＩＺＵＮＡＭＩ情報記者クラブ（地域計画２０２４からの新規事業）
瑞浪地区の市民の皆様に、まちづくりの取り組みやイベント情報を効果的に届けるために、総務広報部にＭＩＺＵＮＡＭＩ情報記者クラブを設置します。このクラブでは、特に子供の教育に関心の高い若い世代の方々を対象に、FacebookやラインなどのＳＮＳを通じて、瑞浪地区まちづくりの活動や市制70周年記念事業などの重要なお知らせを発信していきます。さらに、ＳＮＳの活用方法について講師を招き学習会を開催します。
３その他の広報事業
平成18年に設置した「瑞浪地区まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んでいます。特に激しい下山田団地入口、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を実施します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１、まちづくり新聞の発行
まちづくり推進協議会の活動を住民に紙面で紹介、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年２回（８月・３月）全ページカラーで発行します。
２、ＭＩＺＵＮＡＭＩ情報記者クラブ（地域計画２０２４からの新規事業）
・ＭＩＺＵＮＡＭＩ情報発信記者クラブの構成は、総務広報部長以下全部員で構成しクラブ会議を年6回開催します。
・クラブ会議開催あたり、運営方法や情報内容を検討し情報を更新します。
・ラインシステムの利用方法について講師を招き講習会を6月に開催します。
・ライングループへの参加目標は当面50名程度とします。
３、その他の広報事業
下山田団地入口、入ケ洞池、上山田農園前の２カ所の野立て看板貼替を実施します。

４　事業に要する経費（総事業費）

445,000 円

５　交付金申請額

418,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報事業

２　活動報告（活動内容等）

1, 広報紙の発行
　まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年2回（8月・3月）全ページカラーで発行した。
２、MIZUNAMI情報記者クラブ
　ライン講習会を計画しましたが講師の都合が出来ませんでした。
３、その他の広報事業
　「まちづくり活動」をＰＲするため設置された野立て看板の破損及び剥離があるため2箇所の貼替を行った。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①瑞浪地区約4,000戸の全戸に、まちづくり新聞の全ページカラーで49号（8月1日）と50号（3月1日）の2回発行した。。（計画＝発行2回）
②ライン講習会とクラブ会議はできませんでした。総務広報部員3名がライン教室に参加した。
　（計画＝講習会1回、クラブ会議　）
③常盤渕公園、下山田団地の野立て看板2枚を貼替え補修た。（計画＝2箇所）

４　事業に要した経費（総事業費）

393,250 円

５　夢づくり地域交付金充当額

393,250 円
（内、交付金加算額　　円）

7　活動スケジュール、活動の内容　　（広報）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
8月	第49号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
１１月	野立て広告看板貼替（摩耗指摘貼替コンテンツ）	手数料等	46,200
２月	第50号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
	総務広報部スマホ教室案内（@110円×5枚）	通信費等	550
合計			393,250

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	418,000	393,250	
自主財源	27,000	0	
その他（　食品チケットの販売　）			
合　　計	445,000	393,250	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報誌まちづくり新聞発行事業	まちづくり事業の理解と参加を促進するためにまちづくり新聞を発行します。	印刷費	360,000	346,500	まちづくり新聞発行
		食料費	3,500	0	
		通信費等	3,000	0	
		小計	366,500	346,500	
MIZUNAMI情報記者クラブ	まちづくり事業の開催案内の周知、開催結果を効果的にＳＮＳを通して発信します。	報償費	20,000	0	
		食料費	5,000	0	
		通信費等	3,500	550	スマホ教室参
		小計	28,500	550	
その他の広報事業	野立て広告劣化のため貼替補修をします。	手数料等	50,000	46,200	野立て看板貼替２ヵ所
		小計	50,000	46,200	
合　　計			445,000	393,250	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	1
事業名	安心・安全なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	① 青色回転灯パトロールによる巡回:第1、第3金曜日は午後3時から下校見守り、他の金曜日は午後7時から地域全体を実施、延べ120人参加します。 ② 自主防災訓練:地域での防災対策として各区役員と防災担当者含めて130人参加します。 ③ AED・心肺蘇生法講座:2回(3時間講習)コロナ禍各20人、計40人参加します。 ④ 健康ウォーキング:参加者120人×2回 240人参加します。	3
		実績値	① 青パト:第1、第3金曜日小中学生下校時の15時から、主に役員が17日間34人、地域全体は19時から24日間72人。合計41日間で参加者106人で実施しました。 ② 自主防災訓練:家庭や職場での緊急時の対処法などについて、「みずなみ防災会」の協力を得て学びました。 ③ 普通救命講習会:尊い人命を救うために必要な知識と技能を身につけることを目的に、心肺蘇生法とAED操作の講習を行いました。講習は夜間と昼間に2日間開催し、参加者は33名ありました。 ④ 土岐川堤防健康ウォーキング:今年度から春1回で、参加者は145人でした。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	コロナ禍は小康状態をたもっているものの、ライフスタイルの多様化や暮らし方に対する価値観の違いにより、「住民同士のつながり」は希薄化しつつあります。住民が安心して暮らせる安全なまちを作るため、住民による防犯・防災対策と、助け合おうとする意識の向上が特に今必要と思います。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				26

今後の事業展開の方向性	1 (拡充) 2 継続 3 終了 4 廃止
意見・感想など	・事業への熱意、関心度を把握するため、各事業への事前申し込みを取り入れた上で事業を実施しています。 ・各事業は、瑞浪地区において、安全・安心に暮らせる為の重要な活動と認識しており、継続して取り組んでいきます。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	2
事業名	潤いのあるまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 花の苗の配布：30団体と小中学校に、春・秋の2回 各4,000ポット合計8,000ポット配布します。 ② 万尺川に蛍を：環境美化保全を目的に「万尺川に蛍を」事業を、地域住民と「瑞子連」及び小学生と一緒になって清掃活動と併せて行い、幼虫800匹を放流します。ホタルを観る会を6月上旬、「瑞子連」と協働で行います。 ③ 絵手紙・ちぎり絵教室：手書きのすばらしさと参加者相互のふれあいを通じ、「つながり」「楽しさ」を味わっていただきます。年6回開催120人の参加者で開催します。 試行事業 ⑤ 環境保全事業（ニホンミツバチ飼育）：誘引花キンリョウヘンをセット捕獲に成功します。 ⑤ 男女共同参画事業：人生100年時代へ地域住民としてどのように向き合うのか、講師を招き1回50人の参加者で講習会を開催します。	4
		実績値	① 花の苗の配布：春と秋に潤いのある地域環境づくりを目的に、春31団体・秋30団体の計61団体に8,440ポットを配布しました。 ② 万尺川に蛍を：万尺川周辺地域の環境美化保全と家族の絆を強くするために、3月「瑞子連」の親子と地域の皆さんの54人で源氏ホタルの幼虫100匹以上を放流しました。6月3日の蛍鑑賞会は「瑞子連」と協働で開催し、子ども220人を含む430人の参加者が蛍鑑賞を楽しみました。また、地域貢献企業（株）ダイナム様の会場提供の協力も得ました。 ③ フジバカマの植栽活動：フジバカマとアサギマダラ蝶は密接に結びついており、瑞浪小学校環境委員28名の子どもたちにこの関係を知ってもらった上で、中庭の花壇にフジバカマの苗を植栽していただきました。 ④ 絵手紙・ちぎり絵教室：手書きの素晴らしさや温もりを味わいながら、年間6回、延べ111人が参加しました。 試行事業 ⑤ 男女共同参画事業：「男女共同参画社会 "人生100年の時代へ"」、「災害時においても男女共同参画の視点で」と題し、講演会を実施。36名の参加者を得ました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	新しい生き方、新しい生活様式の実践が求められています。瑞浪地区が、住みやすく潤いのある美しく豊かな生活が出来るために、コミュニティ花壇の整備や環境美化啓発・環境保全活動を行い、笑顔あふれ元気な地域づくりが求められています。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止
意見・感想など	・美化啓発や環境保全は即効性が期待できないため、5年10年と継続した取り組みを行っていくことが肝要です。 ・行事、イベントを開催するにあたり参加者を把握するため、ほぼすべての事業を事前申し込みとしています。事前申し込みをすることにより、行事、イベントへの関心の度合いが測れると考えており、今後の事業継続性を観るうえでの指標になると考えています。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区

事業番号　3

事業名　地域内の交流が活発なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	地域ぐるみ家族ぐるみで事業を開催し、家族を軸に地域的な連帯感に支えられた、人間らしい近隣生活を営む基盤づくりを目標としています。田植え、芋の植付け50人、稲刈り50人、芋ほり大会は100人を予定しています。また、農園管理は延べ200人を予定しています。	5
		実績値	① 5月19日の田植え、芋の植え付けに役員・地域の協力者・参加者の合計で73人が参加し、それぞれ農業体験をしました。 ② 9月15日の餅米稲刈りを、役員・地域の協力者11人で行いました。 ③ 10月20日「芋ほり大会」に53家族218名と、瑞浪中学生の4人が参加しました。「芋ほり大会」1位のさつま芋1個の重さは、1.25kgでした。 ④ 5月から9月まで、草刈りなどの維持管理活動で延べ120人の参加がありました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域では住民同士の関係が希薄になっており、また、家庭では家族の会話が不足しているといわれます。 地域や家族で参加できる事業を開催し、家族や地域の絆をより強くし、これらを解消する一つのきっかけとなる機会を提供します。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				29
今後の事業展開の方向性		1 (拡充)　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・今年度も「地域の皆さんに元気を取り戻してほしい。」「生きるうえで生き甲斐を感じられる気持ちを抱いてほしい。」との思いを込めて、家族単位での事前申し込みによる方法で参加者を募り、実施しました。 ・参加のご家族が元気な笑顔と楽しい会話で芋を掘っていただき、まちづくり「家族ふれあい農園」で育ったモチ米を使った「おこわ弁当」をお土産に皆さん大喜びで自宅への帰途についていただきました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	4
事業名	広報事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 広報誌の発行：まちづくり活動を地域住民に紹介し、事業の理解と各事業への参加を促進するめ、まちづくり新聞を全ページカラーで年2回発行します。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブック・ホームページを随時更新、アクセス数の増加に努めます。 ③ その他の広報事業 平成18年に設置された「まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んだ、JR瑞浪駅前、瑞浪中学校、明賀台団地の野立て看板3枚張り替えます。	4
		実績値	① 広報誌の発行：49号（8月1日号）、50号（3月1日号）の年2回（1回5,000部）発行し、瑞浪地区に全戸配布しました。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブックの月2回以上更新、ホームページの更新は9回行いましたが、動画更新は編集等の準備不足により出来ませんでした。 ③ その他の広報事業 「まちづくり活動」をPRするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため3箇所の貼替を行ないました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域住民の参加と協力を促進するためには、情報をわかりやすく伝えることが重要です。若者向けには、SNSやウエブサイトを活用、高齢者には、紙による「まちづくり新聞」で情報を提供することで、まちづくり活動の進捗や成果を定期的に更新し、情報の共有化を促進することで信頼を図ります。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		①事業ごとに事業のPRや実施後の活動報告を、まちづくり新聞はもちろん、フェイスブックやホームページで行いました。 ②今後は紙ベースの情報発信だけではなく、個人情報には注意し動画によるまちづくり活動をリアルタイムに実施していきます。 ③引き続き新聞、チラシにホームページへのQRコードを印刷し、ホームページのアクセス数を増加させていきます。		

令和６年度

瑞浪地区まちづくり

事業実績記録

①　安全・安心なまちづくり事業

青色防犯パトロール（５月～３月まで毎週金曜日）

実施内容：延４１日間９４名



土岐川堤防健康ウォーキング（５月２６日）

土岐川堤防（高松観音コース）７.６㎞（参加者１３４名）



自主防災訓練（図上訓練８月１８日）

瑞浪市総合文化センター　講堂（参加者１１０名）



普通救命講習会（１１月９日）

瑞浪市防災センター（参加者 16 名）



普通救命講習会（１１月１４日）

瑞浪市防災センター（参加者１７名）



②　潤いのあるまちづくり事業

環境美化チーム・草刈り隊（４月１３日） 通学路（参加者４名）	環境美化チーム・草刈り隊（１２月２４日） 通学路（参加者３名）
	
第１回絵手紙・ちぎり絵教室（５月４日） 西分庁舎会議室（参加者１１名）	第２回絵手紙・ちぎり絵教室（７月６日） 西分庁舎会議室（参加者１１名）
	

第３回絵手紙・ちぎり絵教室（９月７日）

西分庁舎会議室（参加者１９名）



第４回絵手紙・ちぎり絵教室（１０月５日）

西分庁舎会議室（参加者１１名）



第５回絵手紙・ちぎり絵教室（１２月７日）

西分庁舎会議室（参加者１６名）



第６回絵手紙・ちぎり絵教室（２月１日）

西分庁舎会議室（参加者２２名）



コミュニティ花壇事業　花の苗配布　春（5月31日）

31団体　4,000ポット



コミュニティ花壇事業　花の苗配布　秋（11月8日）

30団体　4,400ポット



源氏蛍の鑑賞会（6月3日）子ども会（瑞子連協働事業）

山田町ダイナム様駐車場万尺川（参加者430人）



万尺川に蛍を　　万尺川清掃（3月22日）

（子どもを含む地域の方々、まちづくり役員合わせて54名参加）



男女共同参画事業　講演会　　（７月２３日）

災害時においても、男女共同参画の視点で！をテーマに（３６名参加）



フジバカマの植栽活動　（９月１９日）

瑞浪小学校中庭花壇（参加者２８名）



③地域内の交流が活発なまちづくり事業

体験農業田植え・さつま芋苗植え付け（５月１９日）
家族ふれあい農園（参加者７３名）



稲刈り（９月２１日）稲刈り予定日１５日雨
家族ふれあい農園（役員１１名）



家族ふれあい芋ほり大会　（１０月２０日）
家族ふれあい農園（５３家族参加者２１８名）



自然とのふれあい活動　ミツバチ飼育
分蜂で１巣確保



自然とのふれあい活動　昆虫採集（８月３日）

上山田公民館前広場　（子ども４７名含む参加者１０６名）



みずなみ夏の寺子屋（７月29日～８月２日）

瑞浪駅前Mビル（参加者子ども１９８名　サポート２７名）



④　広報事業

まちづくり新聞発行
（４９号８月１日・５０号３月１日）



MIZUNAMI 情報記者クラブ　（2月 28 日）
スマホ教室に（総務広報部３名参加）



野立て看板貼替（１１月）

常盤渕公園



下山田団地



瑞浪市ホームページ　（2月 27 日）

瑞浪地区まちづくり事業動画リンク

みずなみ地区　まちづくりニュース　(2月27日更新)

令和5年度夢づくり地域交付金を活用した主な事業計画

月	日時	行事名	場所	担当部
3月	24日午前10時	万尺川清掃と源氏ホタル幼虫放流	万尺川	青少年育成
金曜日	第1・3 午後3時30分 第2・4・5 午後7時	青色防犯パトロール	西分庁舎前集合	防災防犯

令和5年度　瑞浪地区まちづくりイベント案内(2月27日更新)

3月のまちづくりイベント

万尺川清掃と源氏蛍の幼虫放流

万尺川の清掃を行ってから、約1年間飼育した源氏蛍の幼虫を、子ども会「瑞子連」と地域の皆さんそしてまちづくりスタッフで放流します。参加ご希望の方は3月15日(金曜日)までに、お名前、ご住所、連絡先電話番号をお知らせください。農作業ができる服装で長靴を用意してご参加ください。
日時：3月24日(日曜日)午前10時から(少雨決行)
場所：山田町　ダイナム瑞浪店　南側駐車場　まちづくりのノボリが目印です。